

令和元年8月

兵庫区役所の新庁舎がオープン ～区役所整備を進めます～

13日 兵庫区役所新庁舎が、湊川公園内にオープン。360席を備えた区民ホール「みなとがわホール」が併設され、子育て中の親子が気軽に集える「おやこふらっとひろば」も市内で初めて開設されました。兵庫消防署は、8月5日から荒田公園内の仮設庁舎で業務を行い、令和3年度中の新庁舎完成を目指します。



また、北神地域の行政機能を強化するため、4月に北神区役所を整備し、北神図書館も新設。今後、中央区、西区でも区役所建設を順次、進めます。

令和元年9月

「リノベーション・神戸～人にやさしく明るい神戸へ～」 第1弾スタート

4日 神戸の都市ブランドの向上と人口誘引につなげるプロジェクト「リノベーション・神戸」第1弾を発表。「明るいまち」、「駅前空間の刷新」、「やさしいまち」の3つの観点で、まちのたまたまをリノベーションし、魅力アップを図ります。

【明るいまち】

- まちなか街灯を5割増しに！さらに、すべての街灯をLED化。
- 市自ら防犯カメラを約2,000台増設！主要駅周辺と全小学校区内に平均10台ずつ増設。



【駅前空間の刷新】

- 甲南山手、六甲道、灘、鷹取、伊川谷の5駅で、樹木・植栽の整備／ライトアップやモニュメント、ベンチ、上屋の設置。
- 子育て世帯に配慮し、9駅で駅前駐輪場にママフレアリアの整備加速。
- 神戸電鉄と連携し、長田駅と有馬温泉駅的美装化。
- 市内全駅の駅前空間に景観に配慮した約5,000灯（1駅あたり約50灯）のLED街灯を増設し、駅周辺の市営駐輪場の照明もすべてLED化。
- 谷上駅周辺のバスロータリー改修と神戸三田線の渋滞対策に着手。



【やさしいまち】

- 子どもの誕生をお祝いする「こべっこ ウェルカム プレゼント」として、神戸のベビー用品ブランドの商品や絵本、神戸ゆかりの品物などを贈呈（第1子1万円相当～第3子以降3万円相当）。
- 「(仮称)ひきこもり支援室」の新設による相談機能の充実。
- 現在の日常生活の支援や経済的な支援に加え、奨学金返還支援制度の実施など新たなメニューを追加し、犯罪被害者等支援を充実。

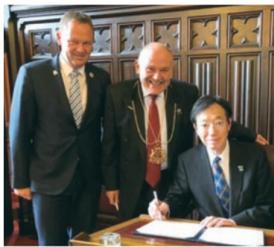


日本初 世界・エネルギー都市の 自治体ネットワーク「WECP」に加盟

7日 様々な分野でのエネルギー政策を展開する都市による国際組織「WECP(世界・エネルギー都市自治体ネットワーク)」に、神戸市が日本で初めて加盟が認められました。

神戸市は、水素エネルギーの利活用に先進的に取り組んでおり、現在進められている、ポートアイランドの「水素エネルギー利用システム開発実証事業」と、神戸空港島の「水素サプライチェーン構築実証事業」は、いずれも世界初の取り組みです。

今回の「WECP」加盟は、エネルギー先進都市としての知名度向上と、実装に向けた海外ネットワークの構築に寄与します。



「アート・プロジェクトKOBETOP2019:TRANS-」開幕

14日 神戸の西側エリア、新開地・兵庫港・新長田地区を舞台とした現代アートのイベント「TRANS-」が開幕。11月10日まで開催されます。

兵庫区出身の世界的アーティスト・やなぎみわ氏による野外劇と、ドイツ出身のグレゴール・シュナイダー氏による空間インスタレーションという、いずれもベネチアビエンナーレで自国の代表となった作家を招聘。地域と連携しながら創作に取り組みました。開催エリアの歴史や空間、建物の特色を活かした作品が見どころとなっています。

「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」 神戸で4試合開催

26日 今秋、アジア初となる「ラグビーワールドカップ2019日本大会」が、国内12都市で開催され、神戸市でも、9月26日の「イングランドVSアメリカ」を皮切りに



4試合を開催。いずれも好ゲームが期待され、国内外から、およそ12万人の観戦者が神戸を訪れます。市では、メリケンパークにファンゾーンを設けるなど、神戸の魅力を楽しんでいただけるおもてなしに力を入れています。

令和元年11月(予定)

市立博物館 リニューアルオープン

2日 市立博物館が、初のリニューアルオープン。1階に「神戸の歴史展示室」を新設し、無料開放します。2階には「コレクション展示室」を新設。大学生半額、高校生以下無料とし、芸術に触れる機会を増やします。小磯記念美術館やファッション美術館、神戸ゆかりの美術館でも市内高校生以下の入館料を無料にしています。

文化関連施設では、神戸文化ホールは、都心・三宮の再整備に伴い、新設されるバスターミナルと市役所2号館新庁舎に大中ホールを移転する計画を推進。また、西区の拠点である西神中央駅周辺に、文化・芸術ホールと図書館を整備する計画を進めています。



発行:新しいステージの神戸をつくる会
Oct. 2019 第11号
651-0084
神戸市中央区磯辺通4丁目2番26号 新美善ビル内
TEL:078-222-0155
FAX:078-222-0166

KOBE 上昇気流

あなたとともに、神戸を新しいステージへ



皆様のご支援により、2期目の市政を担わせていただき、この11月で折り返し点を迎えます。この間のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

近年、人口減少への対応が大きな課題になっています。神戸の活力を維持・向上させていくためには、その対策に全力で取り組んでいく必要があります。

神戸のこれまでの歴史・資産を活かしながら、神戸のまちや人が新たな輝きでつつまられるような「リノベーション・神戸～人にやさしく明るい神戸へ～」をスタートし、都市ブランドの

向上と人口の誘引につなげていきます。

本号では、9月に取りまとめた「リノベーション・神戸」の第1弾をはじめ、この1年の主な取り組みについて、その一端を紹介させていただきました。ご一読いただければ幸いです。

引き続きまして神戸市政へのご参画とご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和元年10月
神戸市長 久元 喜造

この1年の 主な取り組み



平成30年10月

神戸医療産業都市20周年

19日 記念式典に合わせ、ノーベル生理学・医学賞を受賞した(公財)神戸医療産業都市推進機構理事長の本庶佑氏の受賞記念国際シンポジウムを開催。

現在、神戸医療産業都市は、研究機関や高度専門病院群、大学、医療関連企業など約360の企業・団体が集積する国内最大級のバイオメディカルクラスターに成長。スーパーコンピュータ「京」の後継機「富岳」は、令和3年ごろの稼働を目指しています。



久元市長に対する支援の輪を広げましょう。

後援会ではあなたのご入会をお待ちしています。既に会員の方は、新たに会員になっていただける方をご紹介します。

ご連絡は

① お電話で 078-222-0155

② ネットで

太陽光パネル規制条例の制定

5日 「神戸市太陽光発電施設の適正な設置および維持管理に関する条例」が成立し、令和元年7月に施行。太陽光発電は、不十分な設計・施工・メンテナンスの事例や立地地域でのトラブル、パネル放置懸念などが全国的な課題です。

そこで、地上の太陽光発電施設について、適正な設置・維持管理ができる施設のみを認め、「傾斜地・住居区域・交通インフラ近傍等における設置許可制」や「維持管理状況・撤去費の積立状況の定期報告」など全国初の制度を盛り込みました。



認知症対策「神戸モデル」スタート

28日 認知症の方やそのご家族が安全、安心に暮らし続けていくことができるように、「認知症の早期受診を推進する診断助成制度」と「認知症の方が外出時等に事故に遭われた場合に救済する事故救済制度」を柱とする「神戸モデル」がスタート。全国初の取り組みです。

| 「神戸モデル」とは | |
|---|-----------------------|
| 認知症の人やそのご家族が、安全、安心に暮らし続けていくことができるよう、全国に先駆け神戸市の新たな取り組み | |
| 1. 新たな診断助成制度 | 早期受診を支援します |
| 2. 新たな事故救済制度 | 認知症の方が事故に遭われた場合に救済します |

平成28年のG7保健大臣会合での神戸宣言も踏まえ、「神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例」が平成30年4月から施行されており、その具体化策になります。

事業者との事業連携の取り組み進む

14日 ICTを活用した安全安心なまちづくりに関し、市と株式会社NTTDコムが事業連携協定を更新し、見守りサービスの創出やデータ活用人材の育成に取り組めます。

3月26日には、日本郵便株式会社との包括連携協定を締結、地域の安全・安心など8項目で連携を進めます。

4月26日には、市と株式会社メルカリ及び株式会社メルベイが、地域経済循環促進、キャッシュレスの推進、人材育成の分野で事業連携協定を締結。

さらに、8月1日には、東京大学先端科学技術研究センターと地域活性化や地域づくりに向けた連携協定を結びました。

事業者との連携協定は活発化しており、現在、協定数は全体で100件を超えています。

市内各所にストリートピアノを設置

21日 「デュオこうべ浜の手デュオドーム」に試験的に設置した「ストリートピアノ」が好評だったことから、3月21日に本設置を行いました。その後、「鈴蘭台駅ビルすずらん広場」、「神戶中央駅」、「JR新神戸駅」、「ポートターミナル」、「神戸空港」と設置場所を増やしてきました。

特に、神戸を訪れる人が最初に到着する駅や港、空港の拠点で、気軽に音楽に触れていただける魅力スポットが誕生しました。



北神急行線と市営地下鉄の一体的運行について基本合意

29日 交通局が北神急行線にかかる資産等の譲渡を受けることについて、阪急電鉄グループと基本合意に達しました。遅くとも令和2年10月1日までに市営地下鉄と一体的に運行することで、谷上-三宮間の運賃を540円から280円に大幅に引き下げる予定です。



市民向け無料健康アプリ「MY CONDITION KOBE」がスタート

1日 生活や健康の情報をまとめて確認できる市民向け無料アプリ「MY CONDITION KOBE」が、運用開始。スマホと連動し、日々の入力や目標達成で健康ポイントがたまり、抽選でランニングシューズなどに交換できます。食事や運動などで、一人一人にデータに応じたアドバイスが受けられ、市民の健康寿命を延ばす仕組みとして、全国で初導入されました。



農村・里山の活性化

1日 都心から30分の農村での豊かな暮らしを進め、里山資源を活用した新たな「仕事」づくりを支援します。ITやデザイン、経営を学びながら農村での起業を目指す「神戸農村スタートアップ」、古民家を就農シェアハウスとして利活用する「里山しごとつくる拠点整備支援」、神戸版地域おこし協力隊など、都会から神戸の田舎への移住支援策を大幅に拡充しました。



政令市・近隣市で最も手厚い「予防接種」のサービスを開始

1日 乳幼児期の接種スケジュールの管理が手軽にできる無料スマホアプリ「KOBE予防接種ナビ」が誕生。乳幼児のワクチン接種は、接種期間や回数、間隔が異なることから、接種忘れや間隔の間違いが多く、市民の要望に応えたアプリです。また、任意の予防接種「おたふくかぜワクチン」、「ロタウイルスワクチン」の助成制度を新設し、小児インフルエンザワクチンの助成額も拡充。子育て世代の負担を軽減し、子育てしやすい環境を整えます。

六甲山・摩耶山の活性化

20日 都心と「まやビューライン」「六甲ケーブル」をつなぐ「六甲・摩耶急行バス」を4月～11月の間、毎日運行。山上遊休施設等を利活用した「賑わい創出事業」を進め、保養所など遊休施設のリニューアルに対する補助を実施。カフェや宿泊施設などが次々とオープンします。また、集客施設等の新築を可能とする規制緩和に続き、都市型創造産業に資する事務所の立地を可能とする規制緩和の検討も進めています。



「2021年世界パラ陸上競技選手権大会」の神戸開催が決定

23日 「ラグビーワールドカップ2019日本大会」「東京2020オリンピック・パラリンピック」「ワールドマスターズゲームズ2021関西」と3年連続して世界のメガスポーツイベントが日本で開催されます。これらに続き、「東京2020パラリンピック」でパラスポーツの機運が高まった翌年「2021年世界パラ陸上競技選手権大会」の神戸開催が決定。2021年9月に開催し、約100カ国から1,300人の参加と10日間で延べ10万人の来場者が見込まれます。



2017年ロンドン大会の様子(提供:日本パラ陸上競技連盟)

米国シリコンバレーオフィスの開設

8日 神戸のエコシステム構築を目指し、イノベーションの先進地シリコンバレー、サンフランシスコにオフィスを開設。市では、神戸経済の持続的な成長を目指し、ITを活用したスタートアップ(成長型起業家)の育成支援に力を入れており、シリコンバレーの「500 Startups」との起業家育成プログラムは、既に4回実施。また、スタートアップと行政職員がともに社会・行政課題解決に当たる「Urban Innovation KOBE」も3年間で22事業を採択。国内外で「スタートアップに挑戦できるまち」としての認知が広がっています。



神戸空港 1日発着80便まで増便 午後11時までの運用延長合意

11日 関西3空港懇談会が開催され、神戸空港の発着便数枠が一日60便から80便まで拡大、また運用終了時間も午後10時から11時までの延長が合意されました。これを受け、スカイマークが、8月から那覇、長崎、茨城の3路線で各1往復を増便。また新たに、フジドリームエアラインズが、10月27日から出雲と松本に各1往復を就航。このうち出雲線は、12月19日までの期間限定でさらに1往復増便します。



待機児童対策緊急プロジェクト(第3弾)

16日 令和2年4月の待機児童ゼロに向け、保育定員の拡大を着実に実施し、幼児教育・保育の無償化による保育ニーズの増加も見据えた、3つの柱による対策に取り組めます。

【第1の柱】
公園などの活用や、事業者支援の強化などにより、保育施設の整備を促進します。

【第2の柱】
新たな保育人材確保支援や保育士等舎借り上げ支援事業の拡充、保育補助者の活用などにより、保育人材の確保に取り組めます。

【第3の柱】
私立幼稚園の預かり保育の充実や保育サービス情報提供センター(仮称)の設置により、利用者寄り添った支援を充実します。



老朽空き家の解体補助を開始

3日 腐朽・破損のある老朽空き家や建替困難な老朽家屋を対象に、新たに解体費用の補助を開始。費用の1/3以内かつ上限50万円の補助額で、500件を予定しています。「使える」空き家は活用や流通を図る一方、「使えない」老朽空き家は、周辺への影響が深刻化しないうちに解消を図ります。

親子で楽しむ「こべっこあそびひろば」がオープン!

1日 学齢前の児童と保護者が気軽に訪れ、遊びを通じて体力、知力の向上を図ることができるよう大型遊具を配置した施設「こべっこあそびひろば」が、市内で初オープン。



「三宮クロススクエア」の整備に向けて交通社会実験を実施

2日 「三宮クロススクエア」の整備に向けた第一歩として、三宮交差点から中央区役所前交差点で、整備の第1段階を再現した6車線への交通規制を行う交通社会実験を約1か月間行いました。交通への影響を検証し、設計に反映します。

三宮周辺地区の「再整備基本構想」では、三宮の6つの駅と周辺のまちを一体的につなぎ、交通拠点としての機能や回遊性を高める空間「えきまちなか空間」を整備予定で、その核が、フラワーロードと中央幹線の一部を、人と公共交通優先の空間とする「三宮クロススクエア」です。玄関口にふさわしい空間の創出に向けて、整備を進めています。



「新長田合同庁舎」完成式典開催

6日 新長田駅南地区の活性化と県民・市民サービスの向上を図るため、県の共同事業として整備を進めてきました。整備は6月末に完了し、8月から9月にかけて神戸市の行財政局税務部や兵庫県神戸県税事務所などの関係機関が順次移転、業務を開始しました。



新「BE KOBE」モニュメント ポーアイしおさい公園に完成

8日 ポーアイしおさい公園に、新たな「BE KOBE」のモニュメントが設置され、ロケーションを生かした賑わい施設も同時オープンしました。同公園は、市街地の景色を海側から望むことができる市内有数のビューポイント。夜はライトアップされ、美しい神戸の夜景と一体となった「BE KOBE」が、ウォーターフロントの新たな魅力スポットとして注目されています。



防災対策をさらに充実します

4日 消防団員がLINEを使い、防災チャットボットやAIを活用することで、災害現場の情報をリアルタイムで関係者が共有できる「消防団スマート情報システム」を構築し、実用化に向けた実証訓練を実施。全国初の訓練で、「AI防災協議会」やLINE株式会社等と連携し、この取り組みを進めていきます。

ハード対策では、昨年の台風21号による高潮被害を受けて、六甲アイランドの都市機能用地への浸水防止や、港島トンネルの冠水対策も完了。さらに現在地盤のかさ上げや擁壁の設置等の抜本的な浸水対策も進めています。

